



2026-27 年度 第2650地区スローガン

「新しい扉を開く」

ー 成長と持続のバランスをととのえる一年にー

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

会 長	辻 修
副 会 長	杉 垣 輝 樹
幹 事	藤 井 宏 典
会報・資料委員長	堀 内 邦 郎

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第10回(通算3090回)2026年(令和8年)9月27日号

本日の例会(9月27日)

IM第5組

ホスト:あすかRC 於:榎原神宮

次回の例会(10月6日)

第1回クラブフォーラム(クラブ奉仕)

9月15日の例会報告 会長の時間

大阪・奈良・京都へ行きますと、外国人の方を非常に多く見受けれます。ここ大和高田市にも外国人の方が1200人お住まいで、全国では400万人にもなるそうです。旅行者の方を別にしますと、お住まいになっている外国人の方は、我々と同じアジア系の方が非常に多いようです。その人たちを見る目が若干冷たかったり、一步引いた目で見ていたのではないかなと、私自身もちょっと思う次第であります。2025年7月15日の朝日新聞の天声人語にこんなお話が載っておりましたので、ご披露いたします。

「哲学者の今道友信さんが30歳のころの話である。1950年代というから、日本も日本人もまだ貧しかった。東大を出てフランスで大学の講師になったが、薄給で生活は苦しかったという。晩御飯を食べる小さなレストランで、給料日の前はいつも一番安いオムレツだけを注文した。お腹がすいていないから、疲れているからと言いつつを言っていたら、ある日、店の女性がそっと2人分のパンを置いてくれた。2人前でしたと代金を払おうとすると、彼女は黙って口を手を当てて受け取らない。晩年に綴った、『今道友信が哲学を語る』で彼は振り返る。「それだけのことで、思い出すと、今でも涙が出てきます。ひどく寒い日には注文を取り違えましたと、オニオングラタンをごちそうしてくれた。その何と温かかったことか、美味しかったことか、涙が込み上げてきた。暮らしは惨めで嫌なこともたくさんあった。でも、そんな思い出があるから、私はフランスという国がどうしても嫌いになれないのです」。異国の地で人は優しさに救われる。さて、昨今の日本はどうか。外国人は出ていけと言わんばかりの冷たい言葉が跋扈していないか。国籍は違っても、この国で共に地道に暮らす人間同士が憎悪を煽り、煽られ、不安に怯える現状を憂う。今

道さんの著書にはこんな言葉も紹介されている。「美しい心を持って行為せよ。世界はそのときそれだけ美しくなり、その美は後代に伝わる」とあります」。

以上でございます。

幹事報告

◎IMのご案内

9月27日(日)神宮会館にて、12時受付、13時開会の予定です。昼食は事前にお済ませの上ご参加ください。

◎定例理事会のご案内

10月6日(火)

◎休会のご案内

10月13日(火)

◎クラブアッセンブリーのご案内

10月20日(火)13時45分から

誕生日祝

垣本喜己会員(9月16日) 山本忠行会員(9月17日)
廣橋健次郎会員(9月21日) 枡岡 進会員(9月25日)
中川和久会員(9月28日) 吉井英一郎会員(9月29日)
河村憲一会員(9月30日) 松村實昭会員(9月30日)
林 輝一会員(10月2日) 船木克容会員(10月3日)

結婚記念日祝

藤原有騎会員(9月19日) 河村憲一会員(10月2日)

創業記念日祝

堀内邦郎会員(9月20日) 林 輝一会員(9月21日)
甲村侑男会員(9月22日) 丸野正徳会員(9月26日)

委員会報告及びその他報告

◎香芝地区情報集会 杉村喜之世話人

9月15日(火)18時からヴェルデ辻甚で情報集会を開催いたします。その際、会費を徴収させていただきますので、よろしく願いいたします。

ニコニコ箱

・下村敏博会員へ。偉大なる作曲家によるオリジナルロータリーソング、楽しみに聴かせていただきます。

辻 修会員

・下村敏博会員のすばらしい卓話を楽しみにしております。

藤井宏典会員

・本日卓話をさせていただきます。 下村敏博会員

・本日の下村先生の卓話を楽しみにしております。

竹村恵史会員 山下精久会員 佐藤佳雄会員

樫根正起会員 堀川巳清会員 村野淳二会員

喜多輝昌会員 安田志郎会員 川村英亮会員

・先日は新庄地区情報集会にて、役員はじめ会員の皆様ありがとうございました。下村先生よろしくお

願いします。 清水良彦会員

・趣味の委員会白井委員長、コンペではお世話

になりました。 吉川雅章会員

・27日のIM楽しみです。

藤原有騎会員

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

・先日、奈良県赤十字血液センターから、献血50回の感謝状が届きました。私のような酒好きの血液をご利用いただきありがとうございます。

木下庄司会員

・93回目の誕生日祝を頂戴しました。

枅岡 進会員

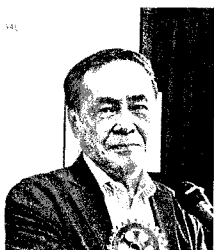
・誕生日祝を頂いて。

山本忠行会員 林 輝一会員 松村実昭会員

・誕生日祝・結婚記念日祝を頂いて。

河村憲一会員

卓話「ロータリーソング」



下村敏博会員

まず最初に、私とロータリーソングとの出会い、その思いについてお話いたします。私は、約35年ほど前、40歳のときに大和高田RCに入会させていただきました。最初に例会に出席して一番驚いたのは、会長が点鐘された後、ロータリーソングを全員が起立して高らかに歌われたことです。100名ぐらいのメンバーが大きな声で歌いました。私はその当時は40歳ぐらいの若輩でございまして、50代から80代の先輩会員の皆さんには、なかなか近寄りがたいものがありました。ガバナーをされた足高晋会員、お医者さんで理論家の中家会員、やはり理論家で迫力のある小原富重郎会員といった強者揃いのロータリークラブでありました。そういう方がみんな立って歌われるわけですね。驚きましてね、これは何だろうと、どういう集まりだろうと思ったのが最初の感想でした。

思いますに、社会の中では、皆さんは地元の有力な企業の代表者であったり、幹部社員、管理職、そういう方々です。また、お医者さんのような専門職の方などです。そういう方たちは、普段は恐らく難しい顔をして部下を叱ったり指示したりされていることでしょう。しかし、このロータリークラブでは皆さんが立ってロータリーソングを歌います。これはなかなかいいなと思いました。そんな姿を見ると、従業員はびっくりするんじゃないかと思います。現代の殺伐とした社会において、我々は常に格好をつけないといけないような、そういう立場でございます。だけど、週に一回、例会でロータリーソングを歌うというのは、そのときは童心に帰る、大きく言えば人間性を取り戻す、優しい気持ちになるというか、謙虚になりますね。それがロータリーソングではないかなと思います。

とりわけ、『手に手つないで』という曲を大会の最後にみんなで歌いますが、あれは歌いながらちよっと照れくさいような思いもいたします。あの何とも言えない照れくささというのが、この『手に手つないで』という曲の良さで、あれを歌うと一遍に親睦の実が上がる、ロータリーの象徴的な歌で、非常に有意義なものだなと思います。

次に、ロータリーソングの由来についてお話いたします。1905年にシカゴに最初のロータリークラブが誕生いたしました。その頃は、奉仕強調派と親睦派の間で、クラブの在り方をめぐって激しい討論が

あったということです。その結果、クラブが崩壊寸前になりました。そのとき、印刷業のハリー・ラグルスさんが「諸君、歌を歌おうではないか」と提案されました。そのことによって、クラブ内の意見対立や、雰囲気悪化が改善されました。クラブ内の融和が図られますと、結束も強まったそうです。これはまさにロータリーソングというものの意義を象徴しているようなエピソードではないかなと思います。

当クラブにおいてよく歌われるのは、『奉仕の理想』『我等の生業』『それでこそロータリー』『四つのテスト』、そして『手に手つないで』です。いずれも伝統があって、非常に親しみやすい曲です。その中でも『我等の生業』は、皆さんご存じの『ふるさと』『春の小川』『春が来た』『朧月夜』などを作られた高野辰之さん(作詩)と岡野禎一さん(作曲)の作品です。

ロータリーソング委員会が編集する「ROTARY SONGS」という冊子には20曲ぐらい載っております。その特集の中のコメントとして、「例会でうたう歌は、この本に載っている歌ばかりでなく、季節にあった唱歌や民謡、歌謡曲などを適宜にとりあげて例会場の雰囲気を盛り上げて下さい」というふうに記載されています。

今年度は、親睦委員長が唱歌も歌おうじゃないかと、そんなことをおっしゃっていたように思いますが、ひょっとしたらそういうこともあるかもしれません。

私は、大学時代から合唱をやっており、その後、合唱団を作ったり、指揮をしたり、ホールでソロのステージをやったり、作詩・作曲をして曲集も出したりしております。そんなことで、社会長や村島会員からお声がけをいただきまして、ロータリーソングを作ってはどうかというお話をいただきました。これはおもしろいと思いまして作ったのが『平和の願い』という曲です。

四つのテストの理念を下敷きにして、その精神に敬意を表して、表現の一部を使わせていただきました。大地にしっかりと根を張るロータリーの木というものをイメージし、それに昨今の国際情勢に照らして、ロータリー綱領の第4番に掲げる「国際理解、親善、平和を推進する」という永遠の願いを込めて、『平和の願い』という曲名を付けました。社会長もメッセージの中で世界平和に言及されております。今、まさに非常に重要なテーマではないかなと思います。

それでは、船木会員、脇本会員、池木会員という歌がお上手なお三方にまずは歌っていただき、その後、皆さんと一緒に練習してみたいと思います。



出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
9月15日	81	55	49	6	0	26	16	0	91.54%
9月8日	81	55	49	6	0	26	18	0	91.78%
9月1日	81	55	47	8	1	26	18	0	90.41%

※食品ロスの削減に努めましょう。(9月8日の弁当残数は1個)

2026-27年度 第2650地区スローガン

「新しい扉を開く」

ー 成長と持続のバランスをととのえる一年にー

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

ガバナー月信はこちら↓
最新号から過去の分まで
ご覧頂けます。



会 長	辻 修
副 会 長	杉 垣 輝 樹
幹 事	藤 井 宏 典
会報・資料委員長	堀 内 邦 郎

第11回(通算3091回)2026年(令和8年)10月6日号

本日の例会(10月6日)

第1回クラブフォーラム(クラブ奉仕)

次回の例会(10月20日)

「古代の甘味料「甘葛煎(あまづらせん)」
と「いもがゆ」のお話
奈良女子大学 大和・紀伊半島学研究所
古代学・聖地学研究センター・協力研究員
前川佳代 様

IntercityMeeting(IM)参加報告

10:15 県下会長懇談会

10:00 新入会員セミナー

13:00 本会議 第1部

14:00 基調講演

15:20 本会議 第2部

17:00 懇親会

会場 榎原神宮

・神宮会館(本会議)

・養正殿(懇親会)

9月27日(日)国際ロータリー第2650地区
2026-2027年度第5組インターシティミー
ティングが「日本発祥の地から『感動』の輪を広げ
よう!」をテーマに開催されました。

本会議では平野洋一ガバナーより、IMでの交流は
情報交換や学びを通じて視野を広げ、各クラブの更
なる発展に繋がる貴重な体験の場であるとのご挨拶
をいただきました。

基調講演では吉永由紀子様より、『『感動』から『感
動』へ繋がるバトン〜顧客満足はALL FOR YOUの
精神から〜』と題して、ANAにおけるキャビンア
テンダントとしての経験談を交え、グループとチー
ムの違いや、お客様に満足いただくのは最低限であ
り、期待値を大きく超えて「感動」していただくこ
とを追求する必要性を教えてくださいました。また、
実際にあった感動体験にも触れられ、会場内は涙を



会場の様子(開会前)



平野ガバナーによる開会点鐘

流されるロータリアンを多数見受けられました。

IMカンファレンス(本会議第2部)では、平野
ガバナーを筆頭に県下ロータリークラブの会長が登
壇し、各クラブの主要な取り組み等を報告してい
たきました。当クラブの辻会長からは、新入会員を
増やすと同時に、パスト会長にも改めて委員長職を
務めていただくことでやりがいを感じていただき退
会防止に繋がるように取り組んでいることが披露さ
れました。

会場を養正殿に移して執り行われた懇親会ではク
ラブの垣根を超え、情報交換と親睦の輪を広げるこ
とができました。

※出席報告は次回号(10月20日発行)にて掲載
いたします。

4つのテスト[言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか



物故会員への黙祷



平野ガバナーごあいさつ



基調講演の様子



講師の吉永由紀子様



I Mカンファレンス



辻会長より当クラブの取り組み報告



懇親会



懇親会